

特殊 (Ex) PUC受圧板の規格

主要寸法はPUC受圧板に準拠

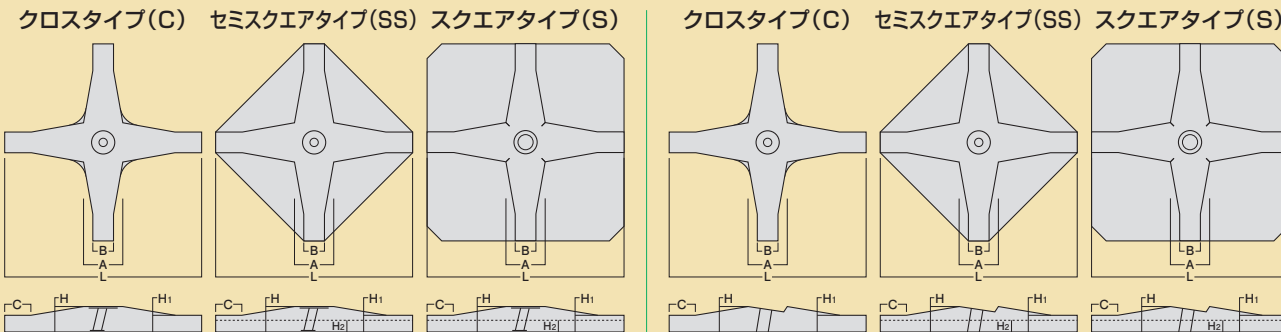
- タイプ：クロスタップ(C) / セミスクエアタイプ(SS) / スクエアタイプ(S)
- 規格荷重：340~1030KN 範囲内で5種類の設計アンカー力(Td)を用意
- コンクリートの圧縮強度：50N/mm² ■コンクリートの構造：PC構造

呼び名	規格荷重 (kN)	受圧面積 (m ²)	質量 (t)	主要寸法(mm)							
				L	A	B	C	H	H ₁	H ₂	
クロスタップ(C) EPCQ EPCM	200	35	340	1.21	1900	600	413	—	300	225	—
		45	450	1.37					350	238	
		60	600	1.59					400	288	
		80	800	1.82					450	338	
		100	1030	1.39					300	—	
	250	35	340	1.56	2400	600	350	30	350	200	—
		45	450	1.83					400	250	
		60	600	2.10					450	300	
		80	800	1.57					300	—	
		100	1030	1.74					350	200	
	300	35	340	2.05	2900	600	350	280	400	250	—
		45	450	2.36					450	300	
60		600	—	300					—		
80		800	—	350					200		
100		1030	—	400					250		
セミスクエアタイプ(SS) EPSSQ EPSSM	200	35	340	1.39	1850	600	350	—	330	200	130
		45	450	1.43					350	250	150
		60	600	1.67					400	250	150
		80	800	1.96					450	300	200
		100	1030	1.83					300	—	
	250	35	340	2.00	2350	600	350	30	350	200	130
		45	450	2.33					400	250	150
		60	600	2.77					450	300	200
		80	800	2.44					320	—	
		100	1030	2.61					370	200	130
	300	35	340	3.03	2850	600	350	280	420	250	150
		45	450	3.66					470	300	200
60		600	—	320					—		
80		800	—	370					200	130	
100		1030	—	420					250	150	
スクエアタイプ(S) EPSQ EPSM	200	35	340	1.74	1850	600	350	—	330	200	130
		45	450	1.79					350	250	150
		60	600	2.22					400	250	150
		80	800	2.65					450	300	200
		100	1030	2.48					300	—	
	250	35	340	2.65	2350	600	350	30	350	200	130
		45	450	3.08					400	250	150
		60	600	3.77					450	300	200
		80	800	3.45					320	—	
		100	1030	3.62					370	200	130
	300	35	340	4.20	2850	600	350	280	420	250	150
		45	450	5.22					470	300	200
60		600	—	320					—		
80		800	—	370					200	130	
100		1030	—	420					250	150	

EP-Q型

形状

EP-M型



急角度対応用・テーパコーンなし・PC製の

特殊 (Ex) PUC受圧板工法

(Extra Prestressed concrete Undermat Cone)

特殊 (Ex) PUC受圧板工法とは

PUC受圧板は、テーパコーン付きPC製受圧板で、アンカー角度は、標準角度で10°以内(0°、5°、10°の3種類)とし、オプションで15°程度までとしております。これに対し、特殊 (Ex) PUC受圧板は、急角度(10°以上)への対応と、またテーパコーン内へのアンカーキャップの収納性の問題から、テーパコーンなしの受圧板が考案され、経済性、施工性に優れた受圧板工法です。

特殊 (Ex) 受圧板工法が考案された理由としては、

- 角度が10°を超える場合において、角度および、設計荷重条件によってはPUC受圧板では、製品コストがアップする場合があります。
- 角度が15°を超える場合においては、構造上の問題から荷重の大きいタイプの受圧板が必要となる場合が多く、不経済となります。
- PUC受圧板は、各種アンカーでご利用頂いているために、テーパコーン内へのアンカーキャップの収納性の問題から、コストアップになるような場合があります。

そのような場合、経済的なタイプとしてご利用頂ける

特殊 (Ex) PUC受圧板 **EP-Q型** **EP-M型**をご提案致します。

急角度対応用 EP-Q型



有効な用途

- 角度が15°以上で、PUC受圧板で対応すると製品コストがアップする場合
- 角度が10~15°程度で、設計アンカー力が比較的大きい場合

アンカーキャップの収納性対応用 EP-M型



有効な用途

- 使用するアンカーキャップの収納性が良くない場合(メーカー・振り角度・テンダンの太さ等)



斜面受圧板協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3
TEL.03-5363-5241 FAX.03-5367-5066

E-mail : syamen@r3.dion.ne.jp
URL : http://www.syamen.jp/



斜面受圧板協会

急角度対応用 EP-Q型〔台座角度調整型〕

急角度(10°以上)の場合において、角度、設計荷重条件によっては、製品コストがアップする場合があります。角度が15°を超える場合においては、荷重の大きいタイプの受圧板が必要となる場合が多く、不経済となる場合があります。

こんな場合には、急角度対応用 **EP-Q型** をご検討されては如何でしょうか？

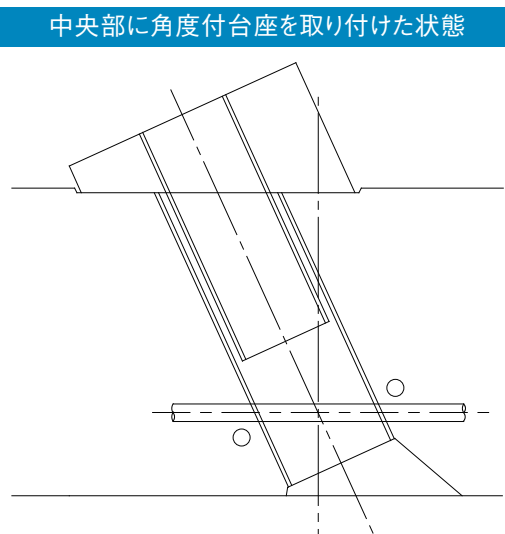
●製品に15°を超えるような急角度を設けたい場合は ⇒ **EP-Q型**

急角度対応用EP-Q型の施工例

製品には、事前のご要求に応じて、製品にアンカー挿入が出来る角度にガス管をあらかじめ設けてあります。受圧板設置後、製品上部に、補鋼板、角度付台座(別途購入)をセットし、定着。最後にメーカーのアンカーキャップを装着し、完了です。



EPSSq型



中央部に角度付台座を取り付けた状態



EPSSq型(兵庫県)施工風景 複合角度20°超
PUC受圧板とEPSSq型が配置された施工現場

現場は、法面が写真左側から右側に向かって凸屈曲しており、挿入アンカーが、定着部で交差する恐れがあるため、右法面に設置する受圧板のアンカーを右方向に振る必要があり、その対応にEPSSq型を採用しました。



背面不陸をモルタルで調整し、安全・確実な施工を行いました。

アンカーキャップの収納性対応用 EP-M型〔溝型〕

PUC受圧板は、特定のアンカーとの組み合わせに限定しておりませんので、多くのアンカーでご使用になれます。しかしご使用になるアンカーの種類によっては、頭部保護のためのアンカーキャップの固定ネジ部のP.C.Dが大きかったりして、PUC受圧板のテーパコン内に収納しにくい場合があり、補鋼板(アンカープレート)の嵩上げが必要となったりして、別途費用が必要となる場合があります。

このような場合には、アンカーキャップの収納性対応用 **EP-M型** をご検討されては如何でしょうか？

●不必要な経費を省きたい! 場合は ⇒ **EP-M型**

アンカーキャップの収納性対応用EP-M型の施工例

製品には事前のご要求により、製品内で角度補正がなされています。アンカープレートを装着し、定着。最後にメーカーのアンカーキャップを装着し完了です。



EPSSm型(兵庫県)施工全景 EPSSm300-100-10(上)



EPSSm型(兵庫県)上下角度10度 SFL-7

転石を多く含む切り土法面の為、設置面の状態が悪く、ざぶとん裏込め工法を採用し、安全、確実な施工を行いました。



EPSSm型(青森県)施工全景 EPSSm300-100-15(上)



EPSSm型(青森県)
上下角度15度 SFL-7

モルタル吹き付け面の不陸調整の為、ざぶとん裏込め工法を採用し、安全、確実な施工を行いました。